



HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成28年6月2日

受付日：平成28年4月13日
受付番号：HP16-KT037

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

1. 接合金物名称	薄板軽量形鋼造用接合金物「WSHD-90」
2. 試験依頼者	有限会社ワークスタッフ一級建築士事務所 〒140-0001 東京都品川区北品川1-13-10
3. 目的	①試験降伏荷重と終局耐力及び最大荷重の5%許容限界値を求める ②試験結果より、「薄板軽量形鋼造建築物設計の手引き第2版(一般社団法人日本鉄鋼連盟 2014年発行)」及び「平成13年国交省告示第1641号第12第4号」に基づき、短期許容引張耐力の上限を確認する
4. 試験内容	たて枠材端部接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「WSHD-90」 材 質: SS400 (JIS G 3101) 寸 法: (外形) 63mm×70mm×485mm 板厚t=4.5mm 接合具用孔30-φ6.2mm</p> <p>「底板」(本体と溶接) 材 質: SS400 (JIS G 3101) 寸 法: 54mm×65.5mm、t=12.0mm、孔径φ30mm</p> <p>「平座金」 材 質: SS400 (JIS G 3101) 寸 法: 44mm×44mm、t=6.0mm、孔径φ23mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>「ユニポイントドリルねじ(UP-3 HEX 6X25)*2」×30本 材 質: SWCH18A (JIS G3507-2) 寸 法: φ13mm L=25mm 頭部径φ6.0mm 機械的性質: 浸炭焼入れ焼戻し、表面硬さHV560~680硬化層、0.15mm=HV450以上 0.28mm=HV450以下、心部硬さHV330~430、ねじり強さ14.0N・m以上 表面処理: Ep-Fe/Zn 5/CM1</p> <p>3) 枠組材料</p> <p>「たて枠材」2丁 種 類: 89LCM-16*1 たて枠材相互の接合は、構造用ドリルねじDNH4819*1×4本</p> <p>4) その他</p> <p>固定用治具としてM22六角ボルト×1、M22六角ナット×2を用いた。</p> <p>*1 日本鉄鋼連盟製品規格材 *2 株式会社神山鉄工所の品質規格による</p>
6. 試験条件等	試験体の固定: 六角ボルトM22とM22六角ナット及び平座金を用いて鉄骨架台と緊結した。
7. 試験結果	5%許容限界値: 試験降伏荷重 109.31 kN、終局耐力 161.20 kN、最大荷重 178.55 kN 上記より短期許容引張耐力の上限を 89.27kN [※] とした。 ※ここでいう短期許容引張耐力は「試験降伏荷重」及び「最大荷重の1/2」の5%許容限界値のうち、小さい方の値とした(詳細については接合部性能試験報告書に示す)。また、短期許容引張耐力の上限値には使用環境等による調整係数を乗じていない。
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター: 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成28年4月13日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 宇山 善博 所 義登

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。